

## 令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

令和7年1月14日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

## 記

認定：8件

認定の内訳 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	90代以上	女性	自宅にて被災。停電・断水した避難所を経て、市外の親類宅に避難するが、震災によるストレスからせん妄状態となり入院。全身状態が悪化、心筋梗塞を発症し死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
2	90代以上	女性	自宅にて被災。車中泊の後、自宅での生活を続けるが、停電・断水下での避難生活により心身に相当の負荷が生じ、上部消化管出血により死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
3	80代	男性	自宅にて被災。近隣の避難所から1.5次避難所、そして特別養護老人ホームに移るが、褥瘡、新型コロナウイルスへの感染等のため入院。その後、肺炎、敗血症、重度の褥瘡を発症し、全身状態が悪化して死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
4	90代以上	非公表	老人福祉施設にて被災。しばらく施設で生活した後、1.5次避難所に移動、体調が悪化し入院。震災後の混乱状況下での感染症罹患等により心身に相当の負荷が生じ、誤嚥性肺炎を発症するなど全身状態が悪化し、肺炎により死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
5	90代以上	非公表	老人福祉施設にて被災。停電・断水による施設の介護環境の変化やその後の市外への施設への悪路長時間移動、震災後の混乱状況下でのインフルエンザ等への感染により入院。心身に相当の負荷が生じたことで経口摂取が不可となり、高度摂食障害により死亡。災害と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
6	90代以上	男性	非公表
7	70代	男性	非公表

その他1件はすべて非公表

(参考) 審査結果：審査件数10件（認定8件、不認定1件、継続1件）

災害関連死の認定総数88件